

新型コロナウイルス感染拡大による雇用や支援への影響に関するアンケート(支援機関等)

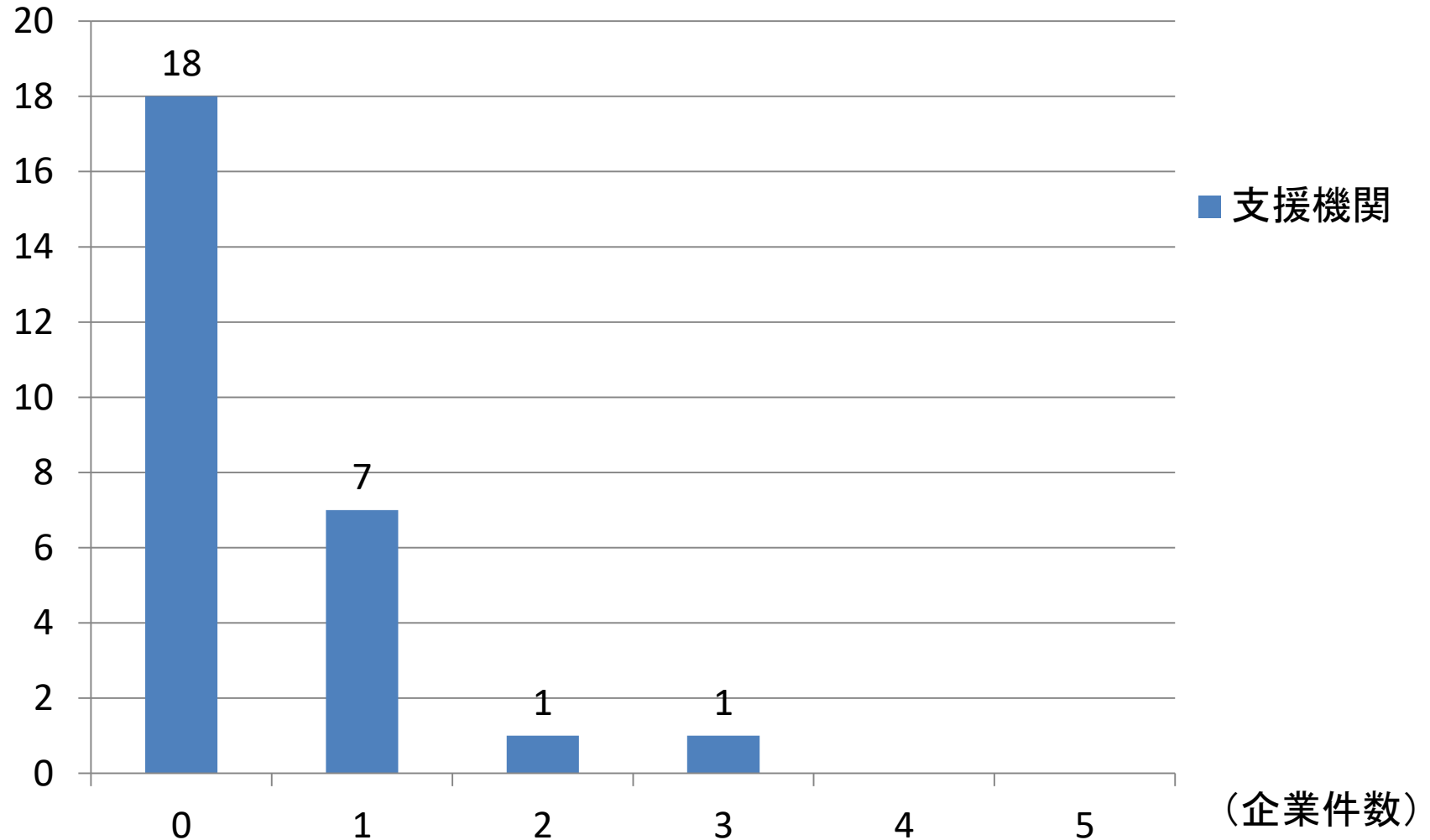
道南版

回答数 32/85

函館地域障害者自立支援協議会就労部会
道南しょうがい者就業・生活支援センターすてっぷ

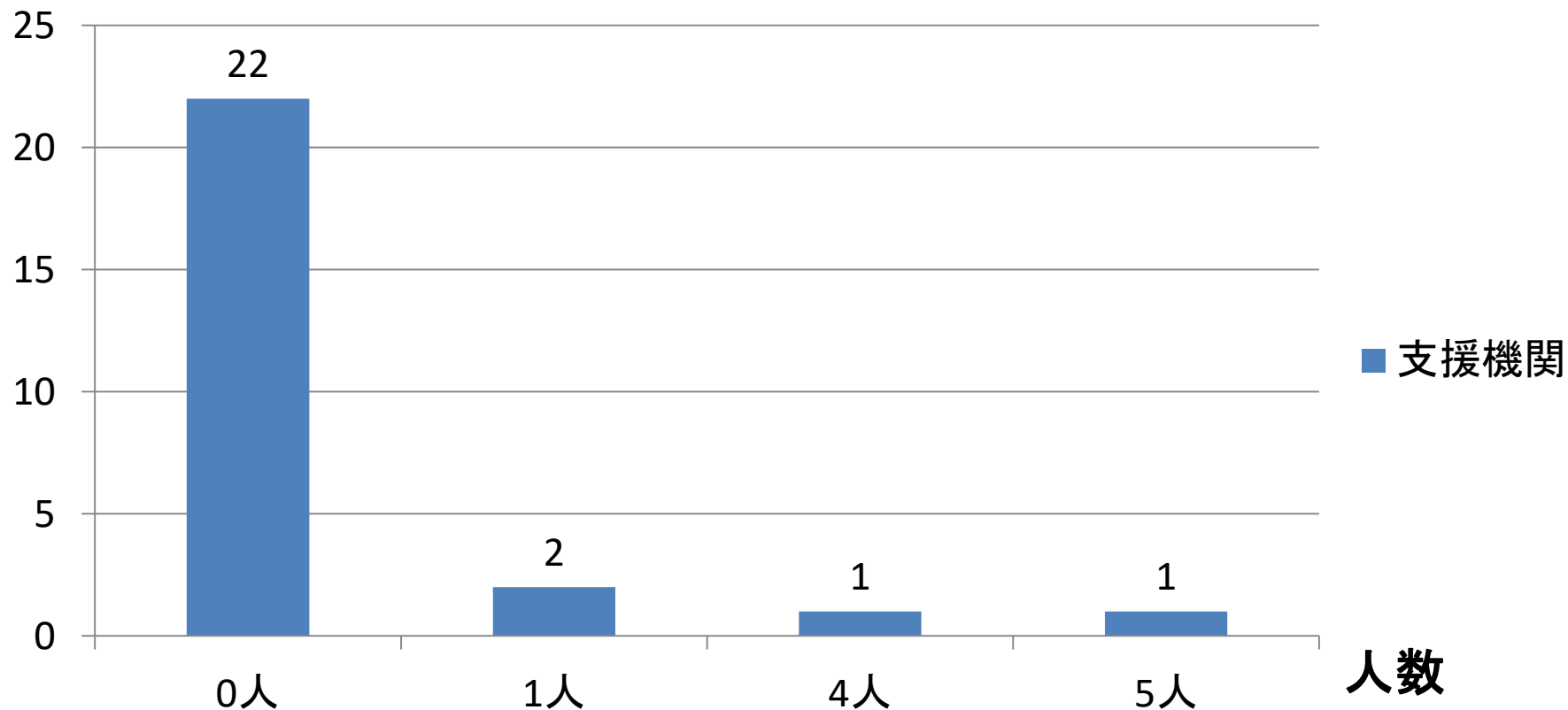
質問) 貴機関が支援する企業で業務縮小もしくは廃業により
障害者雇用を縮小, もしくは 中止した企業数(4月~6月)

回答数: 27 件の回答。

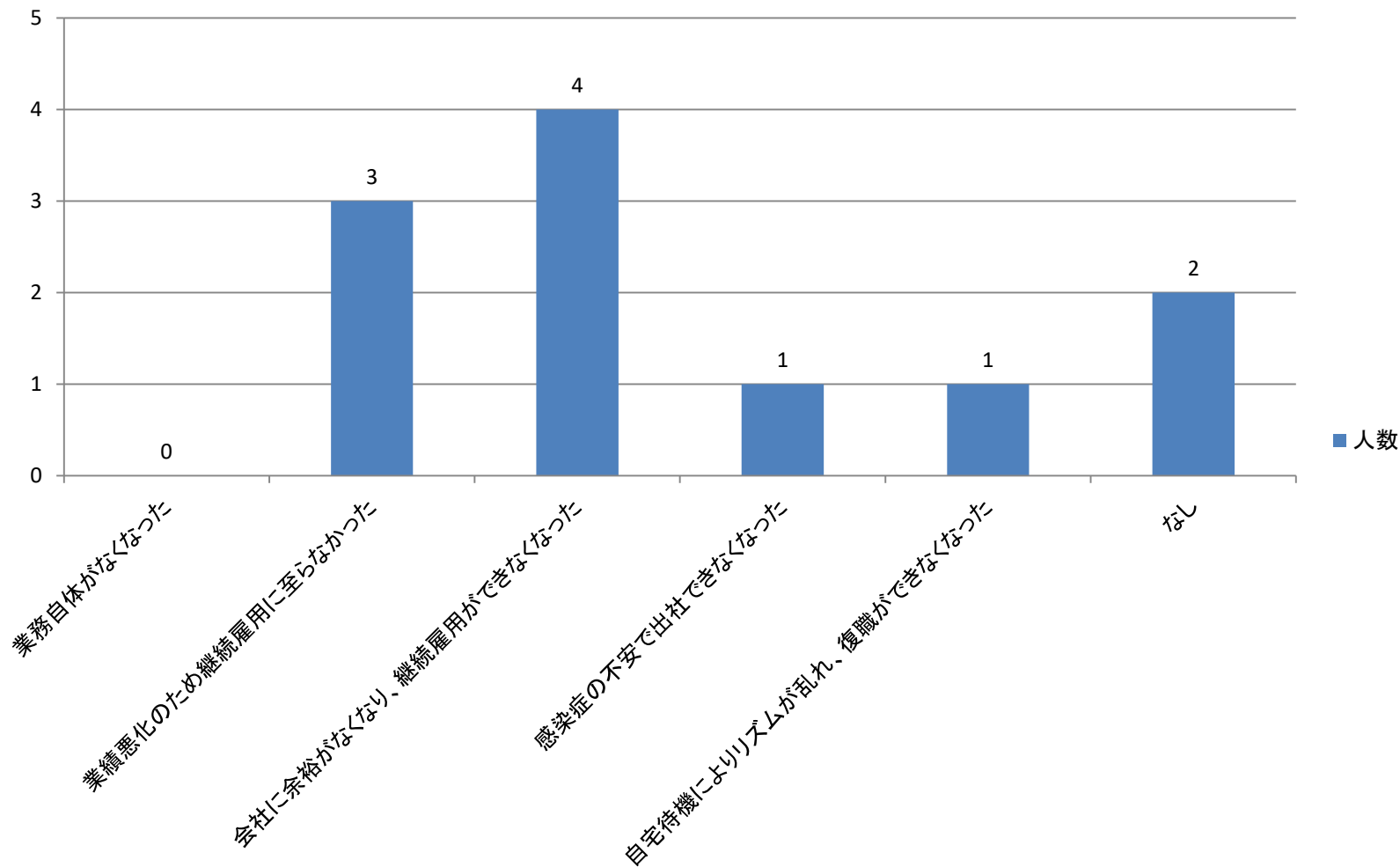


質問) 貴機関が支援する企業で業務縮小もしくは廃業により 失職した障がい者数(4月～6月)

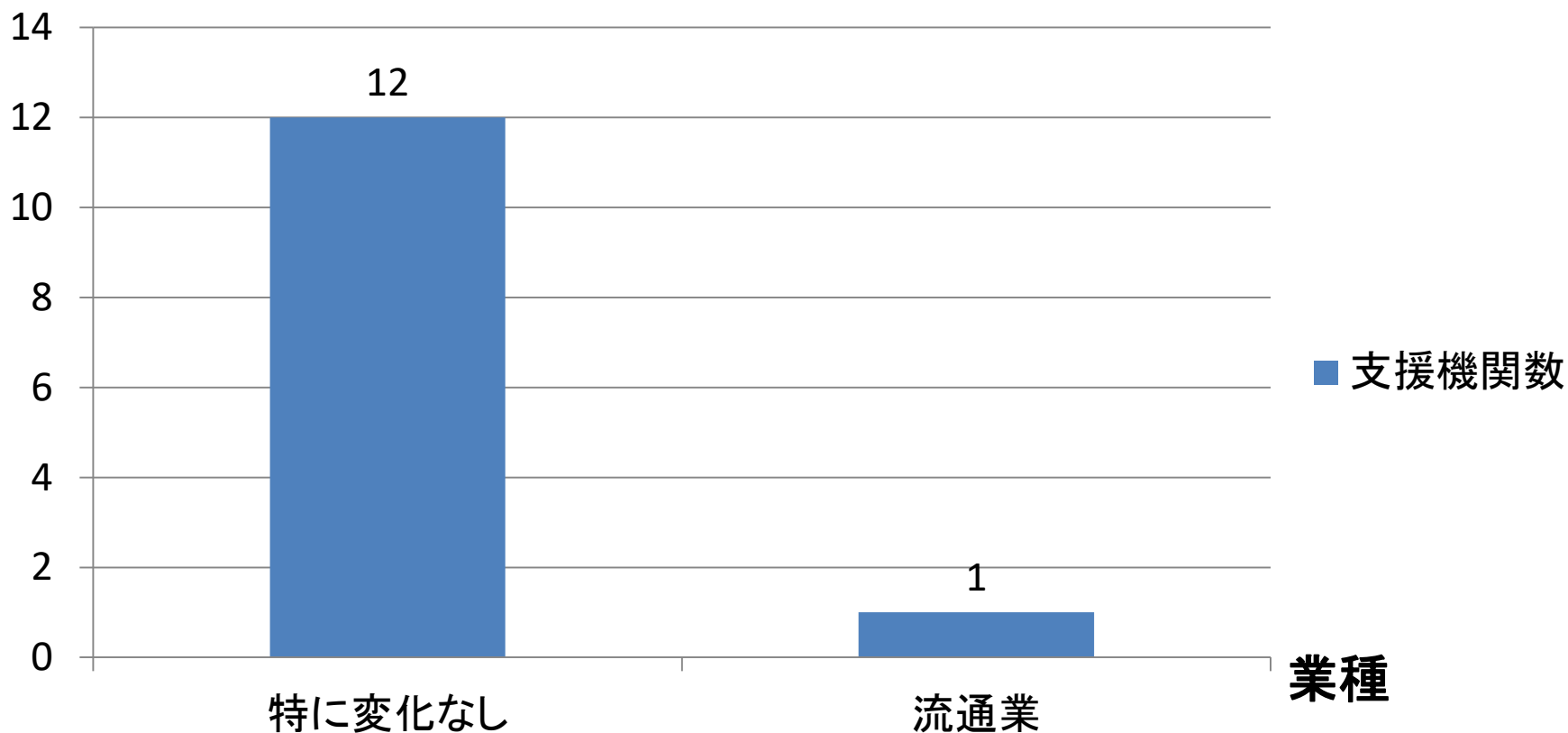
支援機関数 回答数 27



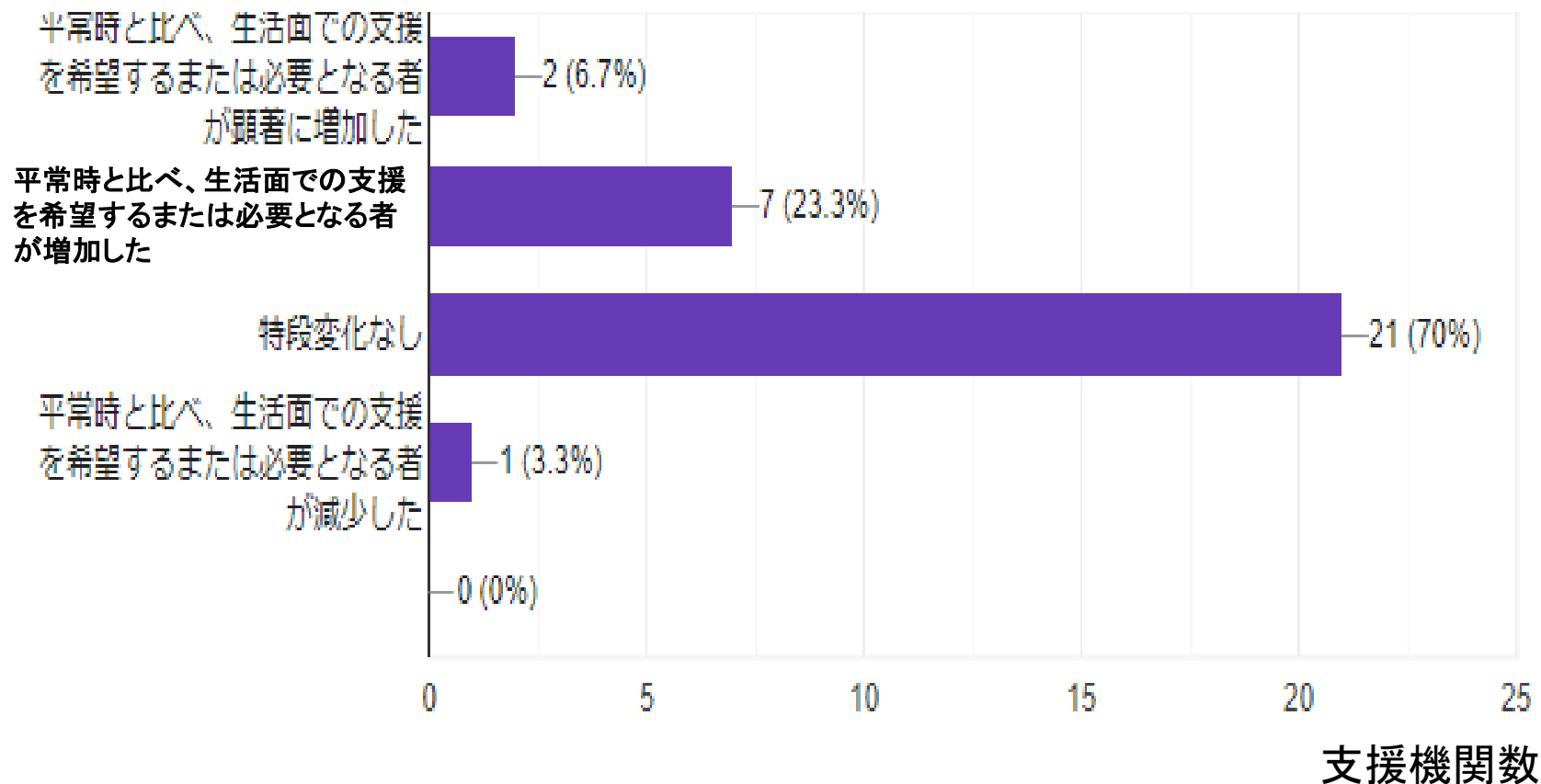
質問) 新型コロナウイルス感染拡大の影響による 離職した理由



質問) 新型コロナウイルス感染拡大後に障害者採用数が増えた業種があれば記入願います。



質問) 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、主に生活面で必要になった支援



質問)生活面での支援方法について、

下記のいずれか該当するものに☑を記入願います。

支援にあたり、新たな方法や取組の導入をした。

回答 10支援機関

特に新たな方法や取組を導入する必要はなかった。

回答 14支援機関

その他

- ・排泄介助回数の増加
- ・不要不急での訪問を控え、電話で対応することを多くした。
- ・カウンセリングやセミナーをオンラインで実施する取り組みを始めた。
- ・通所できないPCメンバーへ在宅作業で生活リズムを整える
- ・今後、生活面で支援が必要になった際の対応について検討する

質問) 下記の中で該当するものがあれば☑するとともに、他にいった支援があれば「その他」の欄に記入願います。

- | | | |
|---|--------|----|
| <input type="checkbox"/> 自宅待機や在宅ワークにより家族との接触時間が多くなること
によって生じる、トラブルへの対処やグループホームの
斡旋・調整 | ・・・ 回答 | 4 |
| <input type="checkbox"/> 自宅待機によって収入が減った場合の家計管理 | ・・・ 回答 | 1 |
| <input type="checkbox"/> 体調管理(手洗い・消毒などの感染防止行為や毎日の検温
の徹底) | ・・・ 回答 | 20 |
| <input type="checkbox"/> 通院同行 | ・・・ 回答 | 2 |
| <input type="checkbox"/> 10万円給付申請などの行政手続き支援 | ・・・ 回答 | 9 |
| <input type="checkbox"/> その他
・健康維持のための運動指示 | ・・・ 回答 | 2 |

質問) 今後の感染再流行やもしくは、新たな感染症などに対応するための事前の備え、必要な対策や課題等について、ご記入ください。

- マスクの備蓄、次亜塩素酸水の容器
- マスク、消毒液の携滞 会議等の短縮、距離を取って行う
- 初期の段階での感染防止のためのマスク・消毒液・体温等の対策用品が手に入りずらかった。
- (課題) 対面支援に制限がかかったことで、利用者で足が遠のいたケースもあったので、こまめなフォローの必要性を感じる。
- 最低限の準備としてマスク、消毒液を常備、道内の感染情報を毎日チェックし、職員自らが密集地帯を敬遠し、状況によって利用者宅または各事業所への訪問面談を控える等の対応を行うことにしている。
- マスクや消毒液などの感染予防用品の在庫の確保。
- 北海道での第3波に備え、マスク、消毒液の備蓄を行っている。
- 通所する利用者の家族が濃厚接触者であった場合、または可能性がある場合の対応方法等について、これから各家庭へ周知しておく必要があります。

- 定期的な手指消毒やマスクの在庫管理。熱中症や災害時の優先順位の確認
- 1 > 衛生用品（消毒剤・マスク等）の確保
- 2 > 工賃確保のための作業事業所製品を、販売する機会が制限され、作業に大きな支障が出ている
- 3 > 受託作業工賃確保のため、作業持続のために、新たなる受託可能な作業で対応、幾分でも作業継続しているが、この受託作業が新たなる作業として利用者にとっては環境の変化となり新たなストレス発生となっている。
- 手洗い、うがい、消毒、検温などの体調管理の徹底。在宅ワークでの導入。
- 紙の書類でのやり取りをなくし、オンラインでの事務手続きが可能になるようにしなければならない。
- 事業所内において、昼食時に密集になる環境（同時刻に4～6人テーブルで食事を摂る）についての配慮や改善が必要（アクリル板の設置等）
- 今後も手洗いうがいの周知徹底を行います。また、出勤前の検温、定期的な換気や消毒も引き続き行ってまいります。コロナウィルスだけではなく他の感染症についても、情報を素早くキャッチし柔軟に対応していきます。
- 元通りの生活にはならないこと、新しい生活様式にそった生活の仕方にする必要があることに対する理解はなかなか難しいと思います。職種や作業への熱意等だけではなく、生活面での衛生の確保・維持についての取組についてより強い支援が必要になるのではないかと思います。
- 石鹸を使った手洗いうがいを引き続き徹底し継続すること
- 衛生面、3密、消毒薬、マスク、3密の励行
- 生活支援を必要とする家庭との情報共有のあり方や課題解決に向けてスムーズに対応ができる支援体制の構築。面会制限等が起きた場合の支援のあり方。
- マスク、消毒液、使い捨て手袋等の常備をしたいところですが、品不足や価格高騰で上手くいかない事で、利用者さん自体も常備が難しくなっている事。
- 3密の回避に伴う感染予防品の確保とご家族への説明～ご家族の帰省等のご要望をどのように実現できるか、丁寧な対応を徹底しなければご家族への不信感につながる。